



大阪ガス

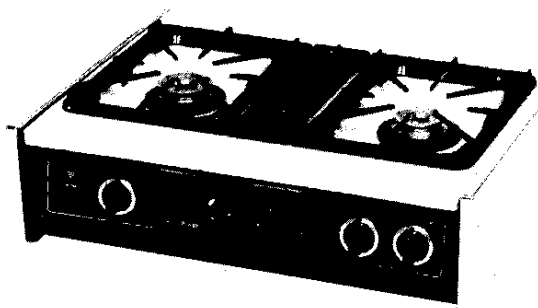
ガステーブルコンロ

取扱説明書

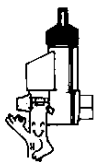
10-285型

保証書付

形式の呼び RSU-3GB-20



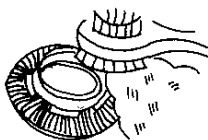
ガス器具をお使いになる時のご注意



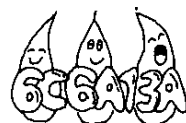
ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとコックも
閉める習慣を



毎日使う
ガスコンロの
バーナーなど器具も
ときどきお手入れを



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

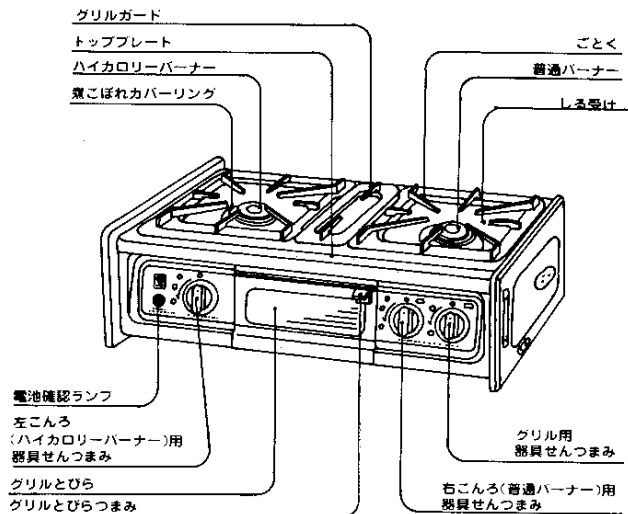
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロ
をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この取扱説明書を大
切に保存してください。

もくじ

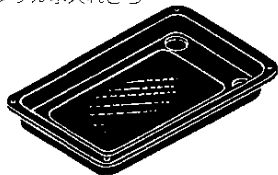
●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	2
●器具の設置	6
●使用手順	12
●使用時のご注意	16
●日常の点検・手入れ	17
●故障異常の見分け方と処置方法	20
●長期間使用しない場合	21
●アフターサービスのお申し込み	22
●特長	23
●外形寸法図と仕様一覧表	24
●別売部品のご紹介	25

各部の名称



●付属品

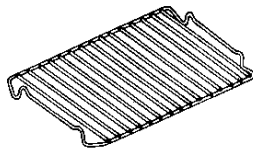
グリル水入れざら



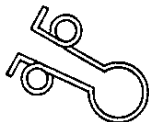
グリル用とって



グリル焼網



ゴム管ホルダー

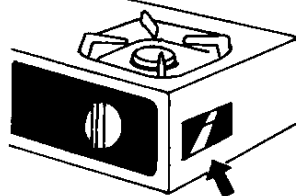


特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
 ガス器具本体の右側面にはある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
 ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



銘板

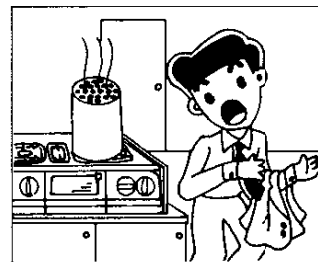
メーカー型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

必ず確かめ
 ましょう

- 都市ガス用 6C
- 都市ガス用 6A
- 都市ガス用 13A
- LPガス用

用途についてのご注意

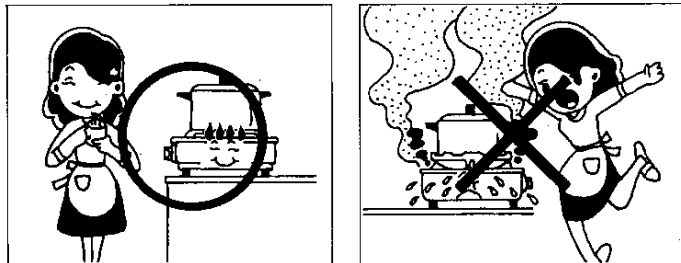
- 調理以外の用途(炭・練炭おこし・衣類の乾燥など)には使用しないでください。
 過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



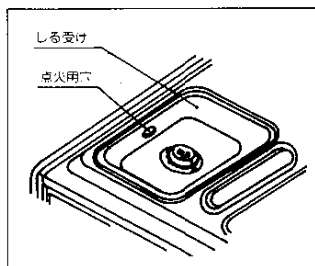
特に注意していただきたいこと②

市販の補助用具使用についてのご注意

- 極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃げないようにするためのなべ枠、または不良の補助用具などで炎をふさいで使うことはさけてください。不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。



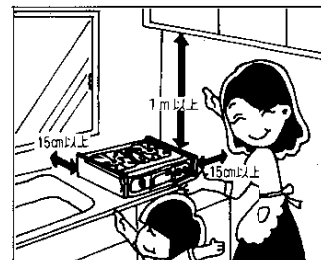
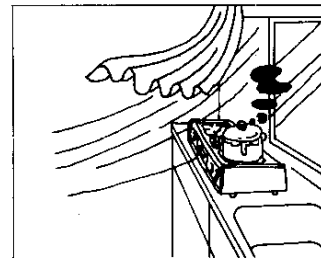
- 市販のアルミはく製しる受けはお使いにならないでください。バーナーに近づいて炎に当たったり、しる受け横についているパイロット用穴をふさぎ、点火の際に着火しなくなったり、不完全燃焼の原因となります。



特に注意していただきたいこと③

使用場所についてのご注意

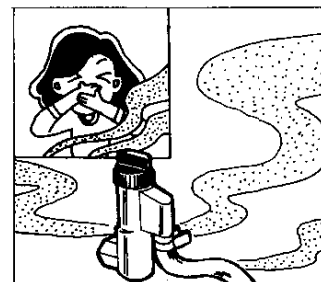
- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で吹き消えることがあります。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
燃え移る危険があります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
- テーブルコンロの周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため左右及び後面ともに15cm以上、上方は1m以上離してお使いください。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

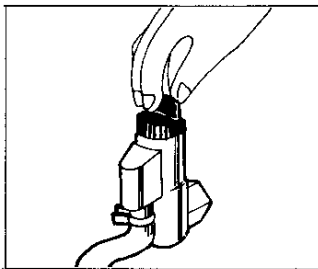
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱にも弱いです。
- ゴム管は良質のものを買い、ときどきとりかえてください。(ゴム管の寿命は2~3年です)
ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具せんから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。



特に注意していただきたいこと④

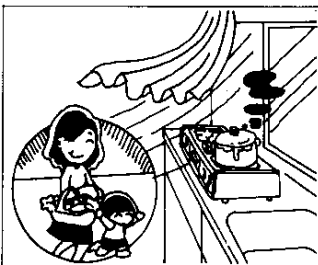
使用上のご注意

- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ずガス元せんを閉めてください。
- 使用中は決して外出しないでください。バーナーの火が風や煮こぼれで消えたりして危険です。
- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。
- 使用中にはときどき正常に燃焼していることを確かめてください。



火災予防

- グリル使用中、グリルの排気口の上に物をのせないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対に置いたり近づけたりしないようにしてください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

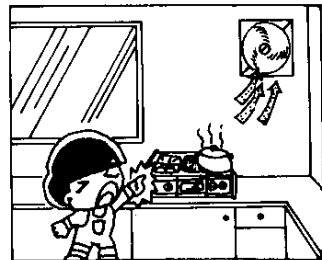


特に注意していただきたいこと⑤

使用上のご注意

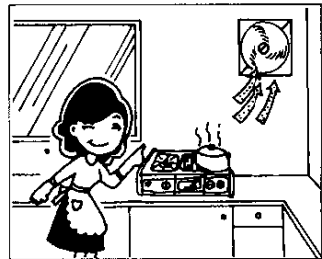
やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。またグリルをお使いになるときは、排気口から高温の排気熱が出ますので、顔などを近づけないでください。
- ご使用中グリル水入れざらを出し入れされるときは、必ず付属のグリル用とってをお使いください。ぬれふきんなどで持つとやけどするおそれがあります。



換気のご注意

- ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。ガスが正しく燃えるためには、ガスの6倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

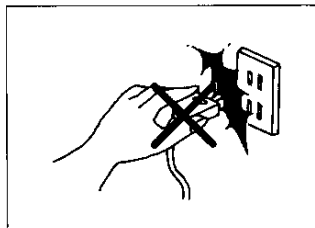


特に注意していただきたいこと⑥

使用上のご注意

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。



〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇、その他電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。

[故障・異常の見分け方と処置方法については、20ページをお読みください。]

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは17ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一、具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

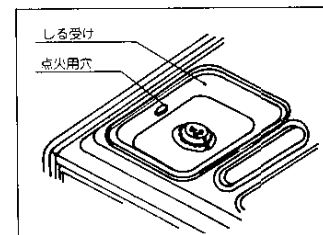
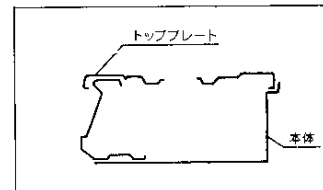
器具の設置

設置前の準備と確認

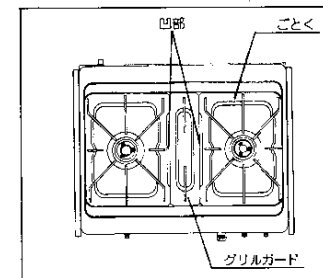
- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、各部の名称のように正しく組み立ててください。
- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

部品の取り付け

- トッププレートは本体に正しくのせてください。
- しる受けは点火用穴が外側になるように正しくのせてください。



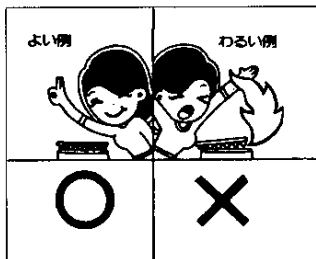
- ごときは凹部が内側になるように正しくのせてください。
- グリルガードはグリル排気口の上に正しくのせてください。



器具の設置②

部品の取り付け

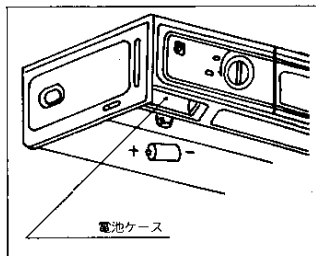
- バーナートップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。また、バーナー本体より浮き上がらないように、2～3回バーナートップを回して確実にハマっているか確認してください。煮こぼれカバーリングもバーナー本体へ確実に取り付けてください。



〈ご注意〉

バーナートップは右(普通バーナー)と左(ハイカロリバーナー)は異なりますので、左右間違いないように取り付けてください。

- 点火用の電池は電池ケース(器具下部の左前にあります)にはめこんでください。電池は単1(1.5V)1個使用です。
- ペアーフリー型ガス高速レンジ・オープン・キャビネットなどと組み合わせて使用される場合は、ペアーフリー型ガス高速レンジ・オープン・キャビネットのトッププレートを取りはずしてから電池交換をしてください。



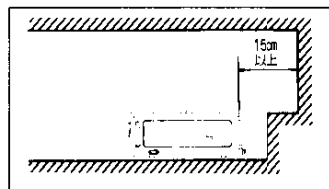
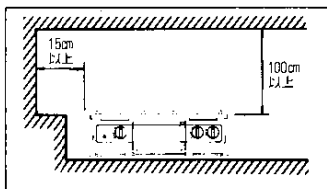
〈ご注意〉

- 電池が正しくセットしており、電池が消費していない場合は点火操作時に電池確認ランプが明るく光ります。
- 電池確認ランプが点滅したり光らなくなったら電池が消費していますので点火しにくくなります。新しい電池にお取り替えください。

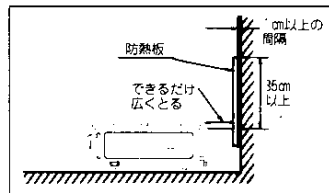
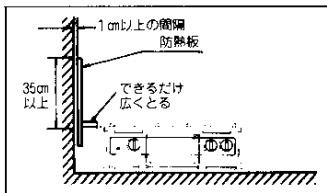
器具の設置③

設置上のご注意

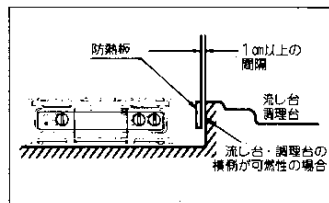
- 丈夫で水平なガス台上に設置してください。
- 耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。
- 周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合
 - ・トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また、上部は器体上面から100cm以上離して使用してください。(火災予防条例で定められております。)



- 可燃性の壁(ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合
 - ・図のように必ず別売の防熱板を取り付けて使用してください。



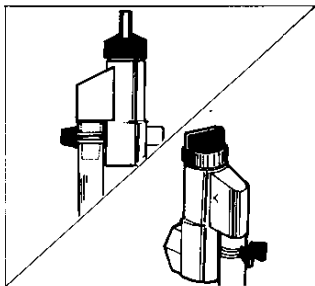
- 可燃性の壁面の高さが35cm以下の場合
 - は図のように取り付けてください。



器具の設置④

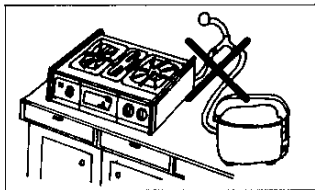
ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりと止めてください。9.5mmφのゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドともゴム管口の赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

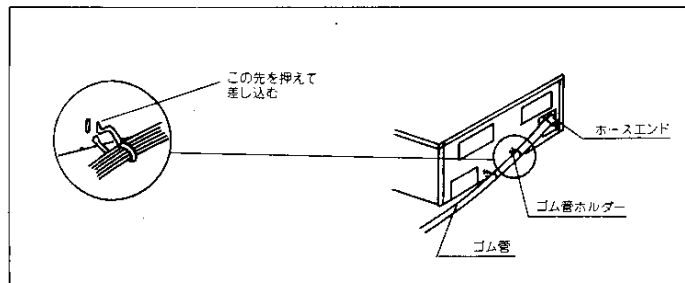


- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かくし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。

- ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐はしないでください。



- ゴム管が器具後部を横切る場合は、付属のゴム管ホルダーにゴム管を通し、図のように器体後部の穴に差し込んで固定してください。



使用手順

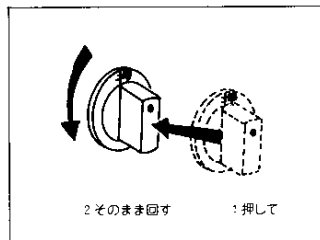
はじめてお使いのとき

- はじめてお使いになるときは、必ずグリル水入れぎらに水を入れ、12～15分の間から焼きをしてください。油を焼ききるため、煙が出ても異常ではありません。

点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。
- グリルをお使いになるときは、グリル水入れぎらに水(コップ1杯強約200cc)を入れてください。

点火(こんろ部・グリル部)

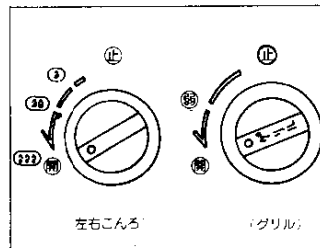


- 器具せんつまみを押しながら「上」の位置より左へ「開」の位置まで回すと電池確認ランプがつき、「パチパチ」とスパークして点火します。
- 点火を確かめてから手をはなしてください。

(ご注意)

- 万一点火しないときは、器具せんつまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。

- しばらく使わないで点火するときは、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。



- グリル点火時は必ずグリルとびらをあけて点火してください。

- グリルは2本のグリルバーナーに火移りしたことを確かめてから手をはなしてください。

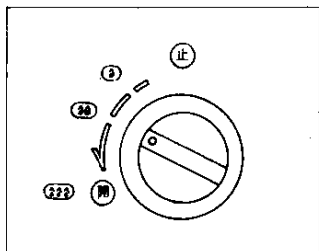
- グリル使用時は、グリルバーナーに点火していることを必ずご確認ください。

使用手順②

空気調節

- 空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのままお使いください。

火力調節



●こんろ部(左右)

- 火力切り替え式の器具せんにより、火力の調節が容易にできます。
④④④が「強火」④④が「中火」④が「弱火」になっています。④④④位置より④④・④の位置にするとときは、それぞれの位置で「カチッ」と音がして軽く止まります。

〈ご注意〉

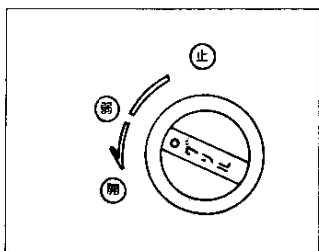
- ④と「止」の間では使用しないでください。消火や不完全燃焼の原因になります。(④④④・④④・④の間は使用できます。)
- ④から④④の位置にするとときは、一旦④④④の位置までまわしてから④④の位置に戻してください。
- ④④④から④の位置にするとときは器具せんつまみをゆっくりと回してください。

●グリル部

- グリルは調理の内容により「開」または「弱」の位置でお使いください。「弱」の位置では「カチッ」と音がして軽く止まります。

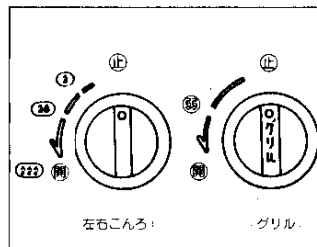
〈ご注意〉

- 必ず「開」または「弱」の間でお使いください。「弱」と「止」の間でお使いになりますと、消火や不完全燃焼の原因となります。



使用手順③

消火(こんろ部・グリル部)

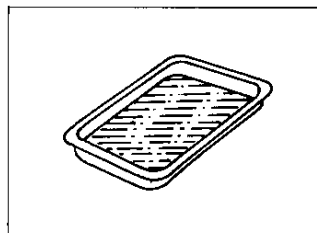
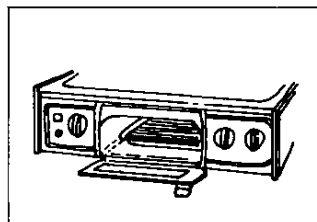


- 器具せんつまみを押さないで右へいっぱい「止」の位置まで完全に回して消火してください。

〈ご注意〉

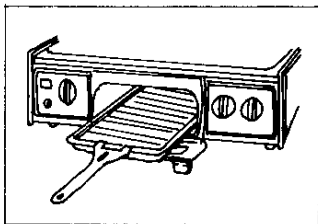
- 必ず火が完全に消えたか確認してください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、数秒程まってから点火してください。
- 長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、器具せんつまみを閉めるだけでなく必ずガス元せんを閉めてください。

グリル部の使い方



- グリル水入れざらはグリルケースの底におき、奥にあたるまで入れてお使いください。
- グリル焼網はグリル水入れざらの中においてお使いください。
- グリル焼網は表と裏で高さが変わりますので、焼きものの種類、大きさによって使い分けてください。
- グリル使用時は必ずグリル水入れざらに水を入れてください。使用後のお手入れが簡単になります。(コップ1杯強約200ccが適量です)
- グリル水入れざらに水を入れる場合は、一旦グリルとびらをあげ、グリル水入れざらをグリル用として少し引き出してからコップなどで入れてください。いっぱい引き出しすぎないようにご注意ください。なおとびらに水をこぼさないようご注意ください。

使用手順④

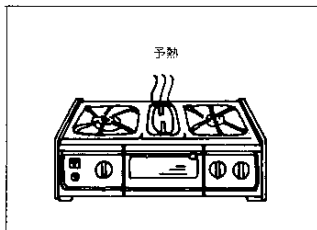


- 焼物はグリル水入れざらに入るくらい
の大きさに切り、グリル焼網にのせて
焼いてください。
- グリル焼網はかならず付属のグリル用
とってで、グリル水入れざらといっし
よに出し入れしてください。

上手なグリルの使い方

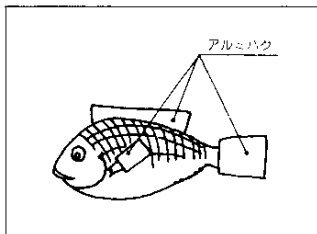
●予熱

- 表面のこげやすいもの(つけ焼、照焼、
粕漬けなど)や、火の通りの悪い魚など
は、予熱しないでそのまま焼きます。
- それ以外の魚や肉は、点火後約3分予
熱して温度が上がってから材料を入れて
ください。このときには、グリル焼網
も同時に熱しておくこととくつきにく
くなります。



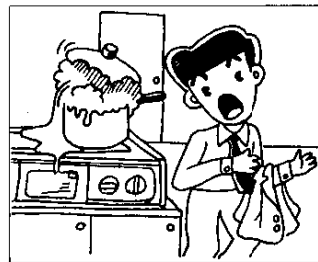
●魚焼きのコツ

- こげやすい部分やヒレなどには厚目に
塩をふりかけるか、アルミハクで包ん
で焼きます。
- みぞ漬けや粕漬けは、みぞや粕を十分
にふきとってから焼きます。

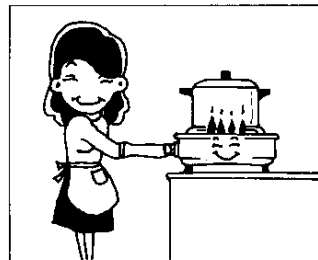


使用時のご注意

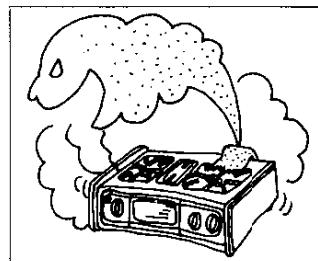
- 煮こぼれは、バーナーや器具を早くい
ためますのでご注意ください。(一度
煮立ったら、沸騰がつづく程度の火力
にしてご使用ください。)煮こぼれた
ときは、必ず完全にふきとってくださ
い。
煮こぼれで炎口がつかると炎が逆流し
て、器具の内部で燃えるおそれがあり
危険です。



- 点火の際は、こんろにナベやヤカンを
かけて点火し、全部の炎口に点火した
ことを確かめてください。



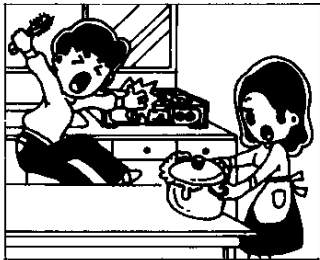
- グリル使用中、グリル排気口の上に物
をのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になりま
す。



日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行ってください。



点 検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。
- バーナートップ、煮こぼれカバーリング、ごとく、しる受けなどが正しくセットされているか点検してください。
- バーナーが煮汁などでつまっていないか点検してください。
- グリル水入れぎらに多量の脂がたまっていないか点検してください。
- 乾電池は漏液することがありますので、ときどき取りはずして点検してください。漏液しているものはご使用にならないでください。

日常の点検・手入れ②

お 手 入 れ

- ごとく・しる受け・煮こぼれカバーリング・グリル水入れぎら・グリル焼網・そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。汚れがひどいときは洗剤をふくませたナイロンタワシで洗っていただき、お手入れ後は乾いた布で十分水気をとっておいってください。



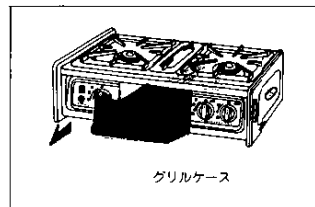
- トッププレート・器体
- 煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとってください。なおとれにくいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れを落とし、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤を十分ふきとってください。
- グリルとびら
- ガラスに油などが飛散した場合は、そのつどまだ温いうちに汚れを落してください。

(ご注意)

- ガラスはミガキ砂や金属片、金タワシなどでこすらないでください。印刷がはげたり、キズをつけると割れる原因になります。

●グリルケース

- 特に脂が多量に出るような料理をされたあとは、煙の出る原因となりますのでごびりついた脂をふきとるか、洗剤をふくませたナイロンタワシで洗っていただき、お手入れ後は乾いた布で十分水気をとっておいってください。



グリルケース

グリルケースは少しもちあげて手前にひっぱると簡単に引き出せます。

(ご注意)

- グリルケースの出し入れは、必ずグリルとびらを完全に開いてから行なってください。
- グリルケースは掃除、修理などの他は引き出さないようにしてください。出された場合は、必ず十分裏に当たるまで入れておいってください。グリルとびらが完全にしまらないと熱気漏れの原因になります。

そ
の
つ
ど

日常の点検・手入れ①

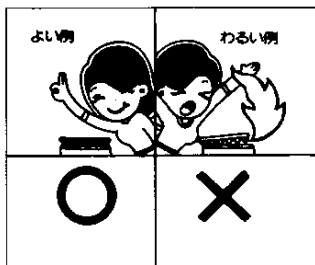
●バーナー(こんろ用)

- バーナートップを取りはずし、ブラシやキリ状のもので掃除してください。
- 目づまりなどで悪くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。
- バーナーを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。



(ご注意)

- バーナートップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は必ず乾いた布で十分水気をとっておいてください。
- バーナートップは左(ハイカラーバーナー)と右(普通バーナー)は異なりますので、はずされた場合、左右間違いないように取り付けてください。
- バーナートップを取りはずされた場合は正しくセットしてください。(詳しくは9ページの部品の取り付けの項をお読みください)
- バーナーボディの水洗いはやめてください。中がさびる原因になります。
- 点火操作の火花の出る部分はさわらないでください。取り付け位置が狂いますと点火しなくなります。また火花の出る先端に手をふれたまま器具せんつまみを操作しますと電気ショックを受けますからご注意ください。(ただし人体には害はありません)
- 器具内の配線にはさわらないでください。



と き ど き

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用中を中止して十分な点検をお願いします。

故障状況 原因 処置

故障状況	原因	処置
点火時、使用中ゴゴーと音がる(逆火する)	○バーナートップがバーナー本体に正しくはまっていない。	○バーナートップをバーナー本体に確実にはめる。 (ご注意) バーナートップ、煮ごぼれカバーリングおよびバーナー本体は高温になっていますので注意してください。
		 ○一度火を消し、しばらくしてもう一度点火の操作をする。 ○それでも音がる場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。
赤火が出てナヘなどにすすがつかつく	○バーナーが煮ごぼれ汁でつまっている。	○バーナーを掃除する。それでもなおらない場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。
ガスの臭いがする	○ゴム管(接続)の不良。	○ゴム管接続のゆるみ ゴム管のヒビ割れを調べ 不良のときは取り替える。
	○ゴム管以外のところからガスがもれている。	○お部屋のガス元せんを閉じる。それでも臭いがする場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。
	○不完全燃焼	○バーナートップ、ごとく、グリルガードが正しくセットされているかを確認する。正しくセットされているのに不完全燃焼している場合は、器具の使用を中止して大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。

故障の見分け方と処置方法②

グリルバーナーが赤熱しない。	○ノズルが詰まっている。 ○空気が多すぎるかまたは少なすぎる。	○大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。
「パチパチ」と音が出て電池確認ランプもつが点滅しない。	○ガス元せんがしまっている。	○ガス元せんをあける（全開にする）
	○ゴム管の折れ	○ゴム管を調べ、折れのあるときはなおす。
	○その他	○大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。
「パチパチ」と音が出て火花が飛ぶが電池確認ランプがつかない。	○電池が消耗している。	○新しい電池と取り替える。電池の取り替えはP9をご覧ください。
	○その他	○大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。
火花も飛ばないし、電池確認ランプもつかない。	○電池の取り付けが悪い。	○電池が正しく取り付けられているかどうかを確かめる。
	○電池が消耗している。	○新しい電池と取り替える。電池の取り替えはP9をご覧ください。
	○その他	○大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社へ修理を依頼してください。

長期間使用しない場合

各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンドなど）にはほこりがって通路をつまらせないように注意してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名……（グリル付テーブルコンロ）
- (2) 品番……（例）

(N) 10-285(U)

大阪ガス株式会社 〇〇

- (3) 現象……（できるだけ詳しく）
- (4) 道順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

保証書について

この器具には保証書がついています。

このテーブルコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

1

左こんろバーナーは火力が強いハイカロリーバーナーですので、炒めものや、中華料理などにお使いください。また急ぎのときなどお湯を早くわかすことができます。

2

こんろの器具せんは、強火・中火・弱火が「カチッ」という音により容易に火力調節ができます。弱火は、風等により炎の吹き消えの心配のない火力になっています。

3

グリルバーナーは、赤外線バーナーですので、焼物の芯まで美味しく焼くことができます。また上火式のため、煙が出ません。

4

グリルの器具せんは強火・弱火の二段火力切替式ですので、焼物の種類・大きさにより火力調節ができます。

5

点火は、電池による連続スパーク式点火ですので、点火が確実です。電池の交換時期は電池確認ランプでお知らせします。

6

料理中のふきこぼれたものが器具の下に流れ難いように煮こぼれ対策をしています。

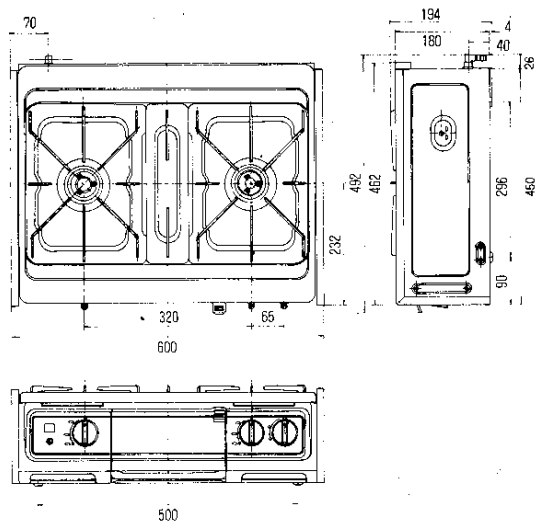
7

全面ごとく（分割式）を採用していますので、鍋やフライパンの取り扱いが容易です。

8

トッププレート、しる受けはカラーホーロー製で美しく、またお手入れのしやすい構成になっています。

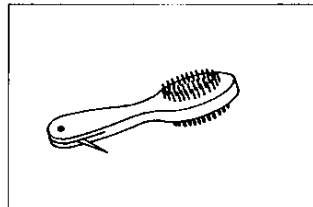
外形寸法図



仕様一覧表

品名	10-285					
形式の呼び	RSU-3GB-20					
点火方式	連続スパーク点火					
外形寸法	高さ194mm×幅600mm×奥行492mm					
重量(本体)	15kg					
使用ガス 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量				ガス接続 ガス消費量	
	個別ガス消費量			全点火時 ガス消費量		
	左こんろ	右こんろ	グリル			
都市ガス用	6 C (kcal/h)	3,200	2,300	1,700	6,800	9.5mmφ ガス用 ゴム管
	6 A (kcal/h)	2,900	2,300	1,700	6,500	
	13 A (kcal/h)	3,200	2,300	1,700	7,100	
L P ガス用 (kg/h)	0.24	0.176	0.14	0.55		

別売部品のご紹介



●掃除ブラシ 4 94-100

- ・バーナーが目づまりしたときに掃除していただくと安定した燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋のガス元せんを閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本	社	〒541	大阪市東区平野町5-1	☎大阪	06(202)2221
南	支社	〒557	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪	06(652)0001
北	支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪	06(301)1251
堺	支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺	0722(38)1131
北	摂支社	〒569	高槻市藤の里39-6	☎高槻	0726(71)0361
阪	神支社	〒662	西宮市和上町4-11	☎西宮	0798(26)3101
東	部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内	0729(62)1131
京	阪支社	〒573	枚方市西田宮町16-17	☎枚方	0720(41)1251
神	戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸	078(576)5231
京	都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都	075(231)8151
奈	良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良	0742(44)1111
和	歌山支社	〒640	和歌山市本町1-1	☎和歌山	0734(31)2481
姫	路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎姫路	0792(85)2221
東	播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川	0794(21)1801
豊	岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡	07962(3)2221
湖	南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680-1	☎草津	0775(62)5311
彦	根支社	〒522	彦根市大東町9-41	☎彦根	0749(22)3131
(長	浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎長浜	07496(2)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社